

三島村しおかせ留学

三島村教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(三島村ってこんなところ)



三島村は、竹島・硫黄島・黒島の三つの島からなる人口370名少々の小さな村です。日本ジオパークに認定される豊かな大然に囲まれ、アフリカの太鼓「ジャンベ」の島でも知られるなど、ユニークな村づくりに取り組んでいます。

「三島村しおかせ留学」では、全国各地からやって来た留学生を、村内4つの義務教育学校に受け入れています。子供たちは、少人数の学級で楽しく学習し、日常的なオンライン授業、自然を生かした体験活動、ジャンベ演奏、地域の伝統行事への参加など、三島ならではの、そして三島でしかできない特色ある教育の中で生き生きとたくましく成長しています。学校全体が一つの大家族のようであり、都会では味わえない交流や体験、学びがあります。

▼ 留学生の声

【Aさん】

私は留学するまで、いろいろな不安がありました。洗濯などの身の回りのことができるのか、去年は行けなかった学校に行けるようになるのかなど。しかし、いざ来てみると、想像していたよりもはるかに楽しい毎日です。学校にも休まず行けるようになりました。朝はしっかり起きることができ、洗濯物は毎日自分で洗って干しています。夜も眠ることができ、今、すごくうれしいです。

【Bさん】

転校してきて初めてアフリカの楽器ジャンベに触れました。これまで音楽があまり好きではありませんでした。ジャンベはなぜか楽しくて仕方ありません。手が痛くなるけど、練習をしているとみんなの気持ちが一つになります。僕の学校は7月に開催された県中学校音楽コンクール「夏の祭典」に初めて出場しました。本番前はすごく緊張したけど、みんな笑顔で楽しく演奏することができました。結果は金賞をいただき、思い出の一つとなりました。2学期からの練習で新しい曲を覚えるのが楽しみです。

▼ 費用負担・補助等

- 1 委託料：月額9万円（実親負担：月額2万5千円，村補助：月額6万5千円）
- 2 教材費・学用品費・衣料費・遊具類費・通信費・旅行費・特別活動費（部活動・その他の教育活動に係る費用）等の費用及び小遣い等，留学児童生徒に関わる経費

※ 医療費・給食費 ➡ 無償（村費負担）

▼ 条件

- 1 小学4年生から中学3年生までの児童生徒
- 2 豊かな生活体験と温かい人間関係により，第二のふるさとを求める児童生徒
- 3 島の大自然の中でのびのびと生活し，勉強することを希望する児童生徒
- 4 通院を必要とする持病や，アレルギーなどのない児童生徒

▼ 学校規模・学校の主な行事（児童生徒数、教職員数は令和4年9月1日現在）

4校の義務教育学校全てで、日常的な遠隔授業やジャンベ活動、ALTとの交流などに取り組んでいます。また、日々の教育活動の様子は、各学園のHPやインスタでも発信しています。

【三島硫黄島学園】

- 児童生徒数 24名
- 教職員数 16名
- 主な行事等
 - ・筍採り
 - ・椿の実拾い
 - ・漁業体験授業



【三島竹島学園】

- 児童生徒数 11名
- 教職員数 10名
- 主な行事等
 - ・筍採り
 - ・釣り遠足
 - ・ハマギプロジェクト



【三島大里学園】

- 児童生徒数 22名
- 教職員数 16名
- 主な行事等
 - ・大里俳句の旅
 - ・釣り遠足
 - ・弓矢踊り、面踊り



【三島片泊学園】

- 児童生徒数 17名
- 教職員数 12名
- 主な行事等
 - ・釣り体験学習
 - ・筍採り、いも掘り
 - ・十五夜かや編み



以上のほか、オンラインを活用した4校相互の交流学习、島を渡っての集合学習、4校合同での宿泊学習、修学旅行なども実施しています。

▼ 問合せ・アクセス

【三島村教育委員会】

電話番号：099-222-3141
FAX 番号：099-223-1832
メールアドレス：
kyouiku00@mishimamura.jp
〒892-0812 鹿児島市名山町 12-18



詳しくは

三島村 しおかぜ留学



で検索！



※ 左のQRコードからも入れます。

十島村山海留学

十島村教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(十島村ってこんなところ)

十島村は、県本土から奄美大島の間にある南北 160km、有人島 7 島・無人島 5 島からなる人口 700 名足らずの小さな村です。「十島村山海留学」では、有人 7 島にある小中学校で受け入れを行っています。全国から、自然との触れ合いや不自由との出会いを楽しみたい、少人数の個別学習で学習の楽しみを知りたい等、都会では味わえない自然豊かで、少人数の離島だからこそできる、体験や学びを実現することができます。

▼ 留学生の声

- 私がこの島にやってきて嬉しく思うのは、みんなで遊んだり活動したりする機会が多く、お互いに励まし合える雰囲気があることです。早く私もみんなを支え、励ますことができる存在になりたいと思います。
- 私は、4年生の2学期に鹿児島から宝島に来ました。人数も少ないのでいろんな係や仕事をし、先生との距離が近く、まちがいや分からないところもすぐ教えてもらうことができました。今では、ほとんど休むことがなく、充実した学校生活ができています。
- 私は、中学1年生の4月から山海留学制度を使って神奈川県からこの島へやってきました。最も感動したことは「海の美しさ」です。フィンやマスクを付けて海に入ってみると本当にきれいな光景が広がっていました。少し先へ行くとさらに想像を越えてきれいでした。周りが広く、水が透き通っていて、そこを横切っていく魚たちがいました。

▼ 費用負担・補助等

実親は里親へ次の委託料を負担します。

小学生：月額 23,000 円 中学生：月額 25,000 円

※兄弟・姉妹留学の場合、2人目以降の月額から 6,000 円を減額し村が負担します。

上記のほかに校納金が別途必要です。

※給食費は村が全額負担しています。

▼ 条件

- 1 小学校1年生から中学3年生までの児童生徒
- 2 地域の自然や環境を理解し、就学を希望する健康な児童生徒
- 3 小規模校（少人数学級）での学習を希望し、向学心のある児童生徒
- 4 豊かな体験と思い出づくり等により、第2のふるさとを求める児童生徒
- 5 通院を必要とする持病や、アレルギーなどのない児童生徒

▼ 学校規模・学校の主な行事

| | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|----|---|-----|
| 口之島小中学校 | 児童数 | 6名 | 生徒数 | 4名 | 計 | 10名 |
| 中之島小中学校 | 児童数 | 10名 | 生徒数 | 8名 | 計 | 18名 |
| 諏訪之瀬島小中学校 | 児童数 | 9名 | 生徒数 | 7名 | 計 | 16名 |
| 平島小中学校 | 児童数 | 3名 | 生徒数 | 7名 | 計 | 10名 |
| 悪石島小中学校 | 児童数 | 7名 | 生徒数 | 6名 | 計 | 13名 |
| 小宝島小中学校 | 児童数 | 5名 | 生徒数 | 3名 | 計 | 8名 |
| 宝島小中学校 | 児童数 | 14名 | 生徒数 | 7名 | 計 | 21名 |

7島合計 96名

▼ 問合せ・アクセス

十島村教育委員会

〒892-0822

鹿児島市泉町13番13号

電話 099-227-9771

F A X 099-227-9773

ホームページ /

E-MAIL/ <http://toshima-ky@tokara.jp>

担当：教育総務課長 安藤



十島村HP



ウミネコ留学

薩摩川内市教育委員会



▼ 特徴・PRポイント

ウミネコ留学は、平成8年度から受け入れを開始し、これまでに301名の児童・生徒を受け入れています。

里親宅で生活をしながら学校へ通う里親留学、家族で移住してくる家族留学、祖父母の元で孫を預かる孫戻し留学を実施しています。

鹿島地域は、渡り鳥である「ウミネコ」の繁殖南限地であり、春に生まれた幼鳥が鹿島で成長し夏に北帰行します。この姿を留学生にオーバーラップさせ、留学生も里親も生涯忘れ得ぬ思い出を残すという意味で「ウミネコ留学生」と名づけられました。

小学校では、少人数学級の特性を生かし、一人ひとりを大切に全員に行き届いた学習を行っています。また、地域住民の教育に対する関心は高く、学校行事にも多くの地域住民が協力しています。豊かな自然を生かした学校や地域の行事を体験することで、心豊かなたくましい子どもになるよう育成に取り組んでいます。

▼ 留学生の声

「鹿島に来て変わり始めた私」

私は、鹿島に来て本当に良かったです。ここでできるようになったことが、3つあります。1つは勉強です。勉強は苦手だったけれど、鹿島に来てやる気も出てきて、「分かる・できること」が増えていきました。

次に遊びです。今まであまり外に出て遊ぶことがありませんでした。しかし、鹿島に来て友達も増え、積極的に外に出るようになり、「外遊びの楽しさ」を知りました。

そして最後に、言葉づかいと思いやりです。留学する前の私は、思いやりが足りませんでしたが、今は、少しは思いやることができ、言葉づかいもよくなってきたと感じています。

▼ 費用負担・補助等

- 里親への委託料は月額6万円であり、そのうち市が月額3万円を補助し、実親の負担は月額3万円です。
- 家族・孫戻し留学については、市が月額3万円補助します。
- 傷害保険料は、市が1/2補助し、実親が1/2負担します。
- 給食費・教材費・学用品などの経費は、実親の負担となります。

▼ 条件

受け入れる児童生徒は以下のとおりとし、11月末（延長する場合あり）までに申込書を提出した者で、受け入れ前に面接を行い、実施委員会で承認された者。

- 1 地域の環境を理解し、就学を希望する児童・生徒
- 2 第二のふるさとを求め、鹿島の大自然の中で豊かな思い出を作ろうとする児童・生徒
- 3 少人数教育でしっかり学び、学力を伸ばしたい児童・生徒
- 4 小学校1年生から6年生までの児童
- 5 小学校に留学し、中学校まで延長したい児童・生徒。ただし、小学生を優先する。
- 6 中学校からの新規留学は認めない。
- 7 募集期間は、毎年7月1日～11月30日までとし、募集人員は13名以内とする。

▼ 学校規模・学校の主な行事

- 鹿島小学校
 - ・ 児童数19名 ・ 職員数8名
- 主な行事
 - 小・幼・地域合同大運動会
 - 小・幼学習発表会

- 海星中学校
 - ・ 生徒数24名 ・ 職員数14名
- 主な行事
 - 体育大会・文化祭

▼ 問合せ・アクセス

薩摩川内市 教育委員会 甑島教育課 鹿島駐在
(鹿島市民サービスセンター内)

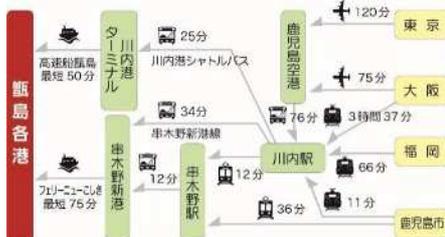
TEL:09969-4-2211 FAX:09969-4-2672



詳しくは
「ウミネコ留学」
で検索



薩摩川内観光物産キャラクター
西郷つん



霧島わんぱく留学（霧島市立永水小学校）

霧島市教育委員会

山村田植え



山村キャンプ



山村稲刈り



山村キャンプ



▼ 特徴・PRポイント（永水小ってこんなところ）

霧島わんぱく留学は、霧島の豊かな自然を生かした様々な体験的活動を通して、子どもの豊かな心と学力・たくましい体を育む制度です。また、地域と学校が一体となって学校生活の充実と地域の活性化を目指します。

県内で初めて山村留学制度を取り入れ、これまで140名以上の児童が留学しました。現在は、家族留学を中心に、少人数良さを生かした、きめ細やかな指導を行っています。

▼ 留学生の声

- 大きな町の大きな学校では経験できないことがたくさん経験できました。運動が苦手だったけれど、みんなと校庭で走ったり、遊んだりしているうちに、苦手意識がなくなりました。（児童）
- 入学前は虫が触れなかったですが、永水の自然の中で育ったおかげで、今では虫かごを持って虫を捕まえるくらいになりました。（保護者）
- 少人数で、きめ細やかな指導をしてもらっていてとてもありがたいです。（保護者）

▼ 費用負担・補助等

【補助金】

- 第1子が月額30,000円，第2子以降月額10,000円が支給されます。
- 市営住宅が月額20,500円程度で借りられます。(2LDK)
- 標準服、体操服があります。(保護者負担)

▼ 条件

- 地域の環境を理解し、永水に留学を希望する児童
- 豊かな自然体験を通して思い出をつくり，第二のふるさとを求める児童
- 霧島山麓の大自然の中で，のびのびと遊んだり勉強したりすることを希望する児童

▼ 学校規模・学校の主な行事

- 児童数 28名
- 教職員数 12名

【主な山村留学関係行事】

- 田植え体験 • 稲刈り体験
- キャンプ • 歓送迎会

【主な学校・校区合同行事】

- 小学校、校区合同運動会
- 秋祭り



永水小ホームページ

<http://www5.synapse.ne.jp/nagarin/>

▼ 問合せ・アクセス

霧島市立永水小学校 霧島わんぱく留学事務局

Tel0995 - 57 - 0367 Fax0995 - 57 - 3434

〒899 - 4202 鹿児島県霧島市霧島永水 3811 番地 (永水小学校内)

Mail : nagamizu@po4.synapse.ne.jp

霧島ふるさととのびのび留学（霧島市立中津川小学校）

霧島市教育委員会



▼ 特徴・PRポイント（中津川小ってこんなところ）

中津川校区は、霧島ジオパークに認定される豊かな自然に囲まれ、霧島山系の南西、霧島市の北部に位置しています。校区は小谷川と中津川の下流に沿った盆地と天降川沿いの安楽、妙見地区からなりたっており、霧島市役所まで車で約25分、鹿児島空港まで約20分で行くことができます。

中津川小学校では、校区内の自然を生かした「米作り」や「茶つみ」、「鮎の放流」、「正月飾りづくり」などの自然体験活動や校区の方との交流、『分かる・できる』を実感できる少人数での学習など、都会の喧噪から離れ伸び伸びとした中津川小ならではの教育を実践しています。また、校内に児童クラブを設置しており、放課後も安心して子供を預けることができます。

▼ 留学生の声

現在、山村留学生は在籍していません。

令和4年度に、山村留学制度を十数年ぶりに復活させました。過去には、全校で2戸から3戸の留学生が在籍したときもあります。

また、令和4年度には中津川校区の魅力にひかれ、完全に移住してきた御家庭もあります。

▼ 費用負担・補助等

- 1 補助金：家族留学については、市から月額 30,000 円の助成を受けることができる。（第2子以降は月額 10,000 円、但し8月は除く）
- 2 給食費：月額 4,200 円（全学年同額）
- 3 費用負担：教材費，医療費，学用品費，衣料費，遊具類費，通信費，遠足費（修学旅行費・集団宿泊学習費等を含む），特別活動費（その他の教育活動に係る費用）及び小遣い等

▼ 条件

以下を御理解いただき、申込書を提出した者で、霧島市教育委員会と中津川小学校山村留学実行委員会にて承認された者

- 1 小学校1年生から小学校6年生までの児童または児童とその家族
- 2 地域の環境と少人数教育を理解し就学を希望する児童
- 3 歴史と文化の香りあふれる中津川の地に第二のふるさとを求める児童
- 4 豊かな自然体験のできる中津川の地で、都会の喧噪から離れ伸び伸びとした心豊かな生活を希望する児童

▼ 学校規模・学校の主な行事

- 霧島市立中津川小学校
 - ・児童数16名（令和4年度）
 - ・教職員数10名
- 主な行事
 - ・小学校，保育園，校区合同運動会
 - ・農業体験活動（野菜や米：年度により変更あり）
 - ・正月飾り作り
 - ・茶摘み体験（PTA行事） など

学校HP QRコード



山村留学制度ポスターQRコード



▼ 問合せ・アクセス

- 問い合わせ先
中津川小学校山村留学制度実行委員会
（霧島市立中津川小学校内）
電話番号：0997-77-2429
FAX 番号：0997-77-2433
- 問い合わせ先までのアクセス
 - ・鹿児島空港から車で約20分
 - ・霧島市役所から車で約25分



やまびこ留学(始良市立漆小学校)

始良市教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(漆小ってこんなところ)

始良市立漆小学校は、始良市の北西部に位置しており、森林や田畑に囲まれ、自然豊かな環境にあります。また、田の神等の史跡も多く、地域の方々も学校教育に高い関心があり、大変協力的です。そんな漆小学校は、小規模校であり、少人数による指導を行うことができるため、個に応じた指導を充実させ、学力アップに力を入れています。また、「田んぼの学校」「野鳥観察」「漆バラ踊りの伝承活動」など、山間の学校という立地を生かした体験活動を通して人間力アップにも力を入れ、生き生き、伸び伸びと成長することができます。

▼ 費用負担・補助等

- 1 委託料:月額6万円(保護者負担:月額3万2千円, 市補助:月額2万8千円)
- 2 給食費:月額 4,240 円(保護者負担で、直接農協に納入)

※現在は、高齢化による里親不在と物件がないことにより、実質可能な受け入れは「孫戻し」のみ。

▼ 条件

- 1 小学1年生から小学6年生までの児童
- 2 地域との関わりを大切にし, 地域行事等に積極的に参加する児童
- 3 少人数指導や複式学級による学習などについて理解し, 意欲的に学ぶ児童
- 4 スクールバスによる通学, バス停留所までの保護者の送迎が可能であること

▼ 学校規模・学校の主な行事

(令和4年度の状況)

第1学年…5名, 第2学年…4名(単式学級)
第3学年…6名, 第4学年…7名(3・4年生は複式学級)
第5学年…3名, 第6学年…4名(5・6年生は複式学級)
支援学級…2名

(学校の主な行事)

田植え(6月), 漆バラ踊り(8・9月), 稲刈り・販売(10・11月), 田の神講(12月)

▼ 問合せ・アクセス

〒899-5301

鹿児島県始良市蒲生町漆 317 番地 (始良市役所蒲生支所より車で約 15 分)

TEL:0995—52—8600

FAX:0995—54—3927

Email: urushi@po12.synapse.ne.jp



漆小 mail

幸田小学校

「ほたる飛び交う清流の里」山村留学

湧水町教育委員会



幸田小学校



幸田川で鮎つかみ



山村キャンプで沢登り



棚田での田植え体験



運動会で一輪車演技披露

▼ 特徴・PRポイント(幸田小ってこんなところ)

幸田小学校「ほたる飛び交う清流の里」山村留学は、平成10年度から始まり、これまでに17名の留学生を受け入れてきました。これまでは、里親留学(子どもだけの留学)のみの受け入れでしたが、令和4年度から親子留学、親戚留学等も受け入れを開始しました。

「つなぐ棚田遺産」(旧棚田百選)に認定された「幸田の棚田群」での米づくり体験をはじめ、豊かな自然体験のできる幸田で、のびのびと豊かな学校生活を送ることができます。

<幸田小ではこんなことができます!>

- (1) 棚田での米づくり体験
- (2) 地域の自然を活かした学習(農業体験, 緑の少年団活動)
- (3) 一輪車をマスター(運動会で発表)

▼ 留学生の声

ここ10年ほど留学生がいませんが、今でも里親さんや当時の同級生と定期的に連絡を取り合っている留学生もいます。

なんと、卒業生には現役のプロ野球選手もいるんですよ!

▼ 費用負担・補助等

<里親留学, 親戚留学(孫戻しを含む)>

- ・ 委託料として実親が里親さんに毎月4万円支払いが必要です。教材費や給食代, PTA活動費, お小遣い等必要経費は別途徴収します。

<家族留学>

- ・ 町から毎月4万円の補助があります。(2人目からは月額1万円)

▼ 条件

- ・ 生活に必要な物は各自で準備します。(衣類, 寝具, 文房具等)
- ・ 留学生は, 通信機器やゲーム機等を持ち込まないこととします。
- ・ 実親は, 積極的に地域活動やPTA活動に参加します。
- ・ 長期休業中は, 原則として実親の元に帰省します。
- ・ 費用等の支払いに未払いや遅延が生じたときは契約を解除します。

▼ 学校規模・学校の主な行事

<幸田小学校> (R4.12.1現在)

児童数 19名

(1年4名, 2年3名, 3年2名,
4年3名, 5年4名, 6年3名)

職員数 12名

(県費9名, 町費3名)

<主な行事>

6月…棚田での田植え体験

8月…山村キャンプ

9月…上場小との集合学習

10月…運動会(一輪車演技あり), 稲刈り体験,
ウォークイン幸田(地域行事)

11月…幸田フェスタ(学習発表会)

12月…餅つき体験

▼ 問合せ・アクセス

<問合せ先>

湧水町教育委員会教育総務課

電話番号 0995-75-2142

FAX番号 0995-75-2456

湧水町立幸田小学校

「ほたる飛び交う清流の里」山村留学実行委員会

電話番号 0995-74-2708

FAX番号 0995-74-2198

<学校までのアクセス>

・ 鹿児島空港より車で約30分

・ 横川ICまたは栗野ICより車で約10分

・ 大隅横川駅または栗野駅より車で約10分



湧水町教委HP